

企業・サイト概要

- 提案企業:株式会社和幸製作所 (<http://www.wako-seisakusyo.co.jp/pro/pro.html>)
- 提案企業所在地:埼玉県さいたま市
- サイト:ミャンマー国 ヤンゴン市
- 相手国実施機関:ヤンゴン市開発委員会
- 事業期間:2014年2月~2015年6月



急激な交通渋滞

2011年の輸入車規制緩和以降、自動車の交通量が急激に増加し、ヤンゴン市では交通の集中による慢性的な渋滞が深刻化。

交通事故防止・交通公害

交通量の増加に起因する交通事故の増加、排気ガス等による交通公害が懸念されている。

交通信号機の故障、稼働停止、絶対的不足

信号機の数が絶対的に不足(2012年末、信号化交差点は141)な状況に加え、電力供給が不安定なため、停電による稼働停止が多い。また、信号機の故障が頻発し、交通管制機能が果たされていない。

交通信号機設置:耐熱、耐水構造でミャンマーの高温・多雨の気候に適合。バッテリー装備により、停電が頻発するミャンマーでも安定稼働が実現。

交通管制システム構築:渋滞緩和のため、感知器を取り付けて交通混雑情報を集め、系統制御する交通管制システムを構築。交通管制システムは、複数の交通信号制御機のコントロールユニットを接続し、広範囲での交通流量の制御が可能。各灯器の点灯時間を適正配分することで、交通流を最適化。

提案企業の準備状況

2012年以降ミャンマー政府機関との関係構築、2013年2月には現地法人を設立

民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 交通渋滞の激しいヤンゴン市内において交通のボトルネックとなる交差点1カ所を中心に、当該交差点につながる周囲の交差点に交通信号機及び感知器を設置する。さらにそれらを統括制御する交通管制システムを導入し、渋滞緩和を目的とする地域交通制御モデルを構築する。
- 安定的稼働を実現する機材設置と適切な交通信号制御を通じて、交通の流れを統制し、実証エリア全体の交通流円滑化に向けて実証を行う。

ビジネス展開

- 普及・実証事業で得た結果を活用して、短期的には、現地における製品の販売活動を図る。長期的には製品の現地生産と保守・メンテナンスも行えるよう体制を整備する。



(ヤンゴン市内の交通渋滞・和幸製作所撮影)



(LED式車両用灯器・和幸製作所撮影)